

トマップ

嘉川の遺跡や史跡は、マップ
野山を巡り、人とひとのふれあ

がっこう りん せき ひ

4 学校林の石碑③

E-4

【福岡地区（福岡～中田畑に至る、空港道路下をくぐり、鉢道跡の先）】 ◎嘉川村立の、嘉川・興進両小学校の学校基本財産としていた。石柱は大正年間に皇太子殿下（後の昭和天皇）御成婚記念で建てられた。



が ざわ しやう がっ こう

12 嘉川小学校 クスノキ②

E-5

【中市地区（嘉川小学校体育館左）】 ◎明治24年出葉地区より移植された幼木は、永年の風雪に耐え胸高幹回り2.5mの太木に育ち学校のシンボルのひとつとなっている。



は せう せん

17 地蔵尊

C-3

【西本郷（西畑、谷奥に向かって左側の斜面）】 ◎由来は不明だが、55番札所の傍にひっそりとたたずむ清楚な石像。

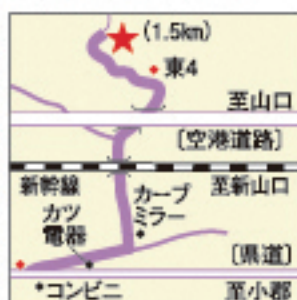


がっこう りん せき ひ

5 学校林の石碑②

E-3

【福岡地区（福岡～中田畑に至る、空港道路下をくぐり、学校林の石碑③の先）】 ◎嘉川村立の、嘉川・興進両小学校の学校基本財産としていた。石柱は明治38年、中田畑地区と福岡地区に建てられた。



しお せき あと

13 塩（潮）湯跡

E-5

【稽古屋地区（嘉泉荘傍）】 ◎当地はかつて井戸より潮水を汲出し塩風呂があった。その名残の井戸が今もこの地に残っている。



ろっ かく だう

18 六角堂

B-3

【西本郷（西畑、谷奥に向かって左側の斜面、東-17の奥）】 ◎個人（西村昭人さん）の所有であるが、地区の高台に配置し、形や色が後方の山とマッチして無限の安らぎを覚える。

